

平成27年度  
北秋田市教育委員会  
点検・評価報告書

平成28年11月  
北秋田市教育委員会

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条に基づき、平成27年度の教育委員会の点検及び評価を行い、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

点検・評価にあたっては、客観性を確保するため、学識経験者1名を評価委員に委嘱し、個別に意見をいただきました。

北秋田市教育委員会点検評価委員 秋田大学北秋田分校長 濱田 純 氏

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 北秋田市教育委員会委員名簿

（平成28年3月31日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	永 井 高 道
委員長職務代理者	佐 藤 正 俊
委 員	吉 田 美 樹
委 員	小 林 真
委員兼教育長	三 澤 仁

# 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

点検及び評価の対象年度 : 平成27年度

## <構成内容>

1 教育委員会の会議開催状況 . . . . . P 2

2 教育委員会の会議審議状況 . . . . . P 2

○平成27年度 教育委員会審議案件一覧

- (1) 平成27年度 議案案件
- (2) 平成27年度 報告案件
- (3) 平成27年度 その他案件

3 総合教育会議開催状況 . . . . . P 2

○平成27年度 総合教育会議審議案件一覧

- (1) 平成27年度 審議案件

4 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】 . . . . . P 4

5 主要事業点検・評価票 . . . . . P 5

【点検・評価対象事業一覧】

【事業個別点検・評価票】

## 1 教育委員会の会議開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回の「教育委員会定例会」と、状況に応じた「教育委員会臨時会」を開催している。平成27年度は、合計で14回開催した。

- (1) 教育委員会定例会・・・12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・2回

## 2 教育委員会の会議審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第25条及び北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成17年教育委員会規則第6号）第2条の規定に基づき平成27年度は合計で32件について審議した。

<平成27年度 教育委員会審議案件一覧>

### (1) 平成27年度 議案案件

議案番号	件名	提出年月日
H27年21	北秋田市教育委員会事務局の組織規則の一部を改正する規則の制定について	H27. 4. 30
22	北秋田市立小中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について	H27. 4. 30
23	北秋田市教育委員会委員長の選挙について	H27. 5. 14
24	北秋田市教育委員会委員長職務代理者の指定について	H27. 5. 14
25	北秋田市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について	H27. 5. 28
26	北秋田市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	H27. 5. 28
27	北秋田市民ふれあいプラザ条例の制定について	H27. 8. 27
28	北秋田市立学校その他教育機関の長に対する事務委任規程の一部を改正する訓令の制定について	H27. 10. 1
29	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	H27. 10. 1
30	北秋田市就学指導委員会規則の一部を改正する規則の制定について	H27. 10. 29
31	北秋田市伊勢堂岱遺跡景観条例案の北秋田市議会提出について	H27. 11. 19
32	北秋田市伊勢堂岱縄文館条例案の北秋田市議会提出について	H27. 11. 19
33	北秋田市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	H27. 12. 25
H28年 1	北秋田市公民館条例の一部を改正する条例制定議案の北秋田市議会提出について	H28. 1. 28
2	北秋田市立小中学校条例の一部を改正する条例制定議案の北秋田市議会提出について	H28. 1. 28
3	北秋田市奨学資金貸付条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	H28. 1. 28
4	北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	H28. 2. 25
5	北秋田市学校職員の職務に専念する義務の特例に関する規則の一部を改正する規則の制定について	H28. 2. 25
6	北秋田市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	H28. 2. 25
7	北秋田市立小中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について	H28. 2. 25
8	北秋田市奨学資金貸付条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	H28. 2. 25
9	北秋田市市立学校遠距離通学児童生徒スクールバス及びスクールタクシー利用要綱の一部を改正する訓令の制定について	H28. 2. 25
10	北秋田市立学校児童生徒遠距離通学費補助金交付要綱の一部を改正する訓令の制定について	H28. 2. 25

議案番号	件名	提出年月日
11	県費負担教職員の内申について	H28. 3. 2
12	北秋田市民ふれあいプラザ管理規則の制定について	H28. 3. 24
13	北秋田市伊勢堂岱縄文館管理規則の制定について	H28. 3. 24
14	北秋田市伊勢堂岱遺跡景観条例施行規則の制定について	H28. 3. 24
15	北秋田市伊勢堂岱遺跡景観審議会規則の制定について	H28. 3. 24
16	北秋田市市立学校児童生徒遠距離通学費補助金交付要綱の一部を改正する訓令の制定について	H28. 3. 24
17	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	H28. 3. 24

※議案番号は、暦年による一連番号を記載。

(2) 平成27年度 報告案件

番号	件名	提出年月日
	報告案件なし	

(3) 平成27年度 その他案件

番号	件名	提出年月日
1	平成27年度教育委員会機構図について	H27. 4. 30
2	小中学校の運動会日程について	H27. 4. 30

### 3 総合教育会議開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）の施行により、平成27年度から「総合教育会議」を設置している。

総合教育会議では、市長と教育委員会が協議を行い、教育に関する総合的な施策の大綱を策定する他、教育の条件整備など重点的に構すべき施策、児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に構すべき措置等について協議・調整を行う。平成27年度は2回開催した。

<平成27年度 総合教育会議審議案件一覧>

(1) 平成27年度 審議案件

番号	件名	年月日
1	北秋田市総合教育会議運営要綱の制定について	H27. 5. 14
2	北秋田市教育大綱の策定について	H27. 5. 14
3	平成28年度における教育に関する重点施策について	H27. 11. 26

#### 4 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】

平成27年度における教育委員会の当初予算は33億3,212万1千円であったが、4,462万円の減額補正となった。これに継続費及び繰越事業費繰越額7億4,831万9千円を合わせ、予算合計が40億3,680万2千円となっている。これは、前年度予算と比較して22億6,713万9千円減少しており、一般会計に占める教育費の割合は約16%で、前年度に比べ約7%減少している。主な要因としては、「合川小学校校舎等建設事業」「伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設建設事業」の終了、「学校給食センター建設事業」が既存施設の解体を残し終了というように、「(仮称)生涯学習交流施設建設事業」を残し大規模建設事業が軒並み竣工したことが挙げられる。

平成27年度における教育委員会の主要施策についての個別点検・評価については、次頁以降に示している65事業において実施した。各事業の採点による点検・評価結果の概要は次のとおりである。

「有効性」については、「あきたリフレッシュ学園事業」「学校生活サポート事業(特別支援)」「学校評議員制度推進事業」「中学校楽器整備事業」の4事業において「期待以上」の成果が得られたと評価されたが、昨年度の7事業を下回る結果となった。また、「陶芸ハウス管理事業」「あいターミナル管理事業」「比立内発電所建屋改築事業(建屋解体撤去)」の3事業が「期待以下」と評価された。

「費用対効果」については、「学校生活サポート事業(特別支援)」「外国青年招致事業」「学校評議員制度推進事業」「中学校楽器整備事業」「子どもふるさと交流支援事業」「100キロチャレンジマラソン大会補助事業」の6事業において「期待以上」の成果が得られたと評価され、昨年度の4事業を上回る結果となった。また、「あきたリフレッシュ学園事業」「陶芸ハウス管理事業」「あいターミナル管理事業」「比立内発電所建屋改築事業(建屋解体撤去)」の4事業が「課題有り」と評価された。

「必要性」については、18事業が「高い」、46事業が「不可欠」と評価されたが、「比立内発電所建屋改築事業(建屋解体撤去)」の1事業が「低い」とされた。

「方向性」については、「小学校校舎等内外改修補修事業」「中学校校舎等内外改修補修事業」「学校生活サポート事業(特別支援)」「外国青年招致事業」「子どもふるさと交流支援事業」「児童大会派遣費補助事業」の6事業が「拡大すべき」と評価された。また、52事業が「継続」と評価されたが、「陶芸ハウス管理事業」「あいターミナル管理事業」の2事業は「縮小」と評価された。平成27年度で終了した事業は「学校耐震化事業」「学校給食センター建設事業」「(仮称)生涯学習交流施設建設事業」「比立内発電所建屋改築事業(建屋解体撤去)」「中央公園野球場スコアボード判定表示板改修工事事業」の5事業となった。

平成27年度の点検・評価対象事業は、中心市街地の賑わい作りを目的に進められた大規模建設事業である「(仮称)生涯学習交流施設建設事業」、世界遺産登録を目指し進められている「伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業、伊勢堂岱遺跡橋梁架け換え工事」を除き、大部分が施設の維持管理等例年実施している事業となる。

今後も児童生徒を始め人口減少が予想される中、「必要不可欠」な事業を限られた予算で効率よく実施し、かつ、高い成果を上げることが一層求められる。そのため、例年実施している事業についても常に内容を精査しながら取り組んでいくことが大きな課題となる。

3回目の参加となった「チャレンジデー2015」は、昨年より4,214人多い、2万381人が参加し、参加率は58.7%となった。この結果、対戦相手の大分県杵築市に勝利するとともに、2年越しの悲願である参加率50%以上を達成し、初の金メダルに輝いた。自治会や各種団体、企業等へ広く声掛けを行ったほか、大型ショッピングセンターで参加報告ができる取り組みとしたことが、前年度比13%の大幅な参加率アップにつながった要因である。次年度以降もスポーツを通じて北秋田市が元気になるよう取り組みを継続したい。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成26年法律第76号)が平成27年4月1日に施行されたことから、「総合教育会議」を2回開催した。市長と教育委員が一堂に会し、北秋田市における「学校教育」「社会教育」「スポーツ」という教育全般にわたり、教育理念や方針、施策や事業等について有意義な協議、意見交換が行われた。

点検評価を終え、学識経験者からは次のようなご意見をいただいた。「点検評価にあたり、遠慮をしているところがあると感じた。地域性もあると思うが、KPIを設定していないので、十分に成果が見られるものでも、はっきり”成果が見られる”と言えないところがあるのではないかと。きちんとした根拠があれば強く言うことができるので、高い評価にしても構わない。そうしていけば、かなりの成果があがっているのではないかと思う。」

いただいたご意見を踏まえ、より効果的な教育行政の推進に努めて参りたい。

平成28年11月

北秋田市教育委員会

総務課

No	事業名	No	事業名
1	あきたリフレッシュ学園事業	5	小学校校舎等内外改修補修事業
2	小学校パソコン導入事業	6	中学校校舎等内外改修補修事業
3	中学校パソコン導入事業	7	学校給食センター建設事業
4	学校耐震化事業	8	学校給食センター運営事業

学校教育課

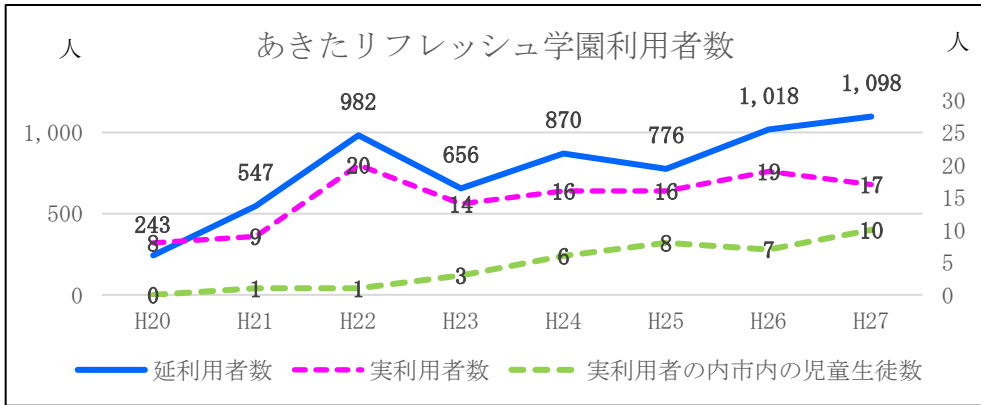
No	事業名	No	事業名
9	学校救急体制整備事業	17	中学校備品整備事業
10	学校生活サポート事業（特別支援）	18	総合学習補助事業
11	学校保健事業	19	児童生徒大会派遣費補助事業
12	外国青年招致事業	20	教育センター事業
13	学校安全整備事業	21	不登校児童生徒対策事業
14	遠距離通学費補助事業	22	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業及び特別支援教育就学奨励費補助事業
15	スクールバス運行事業	23	学校評議員制度推進事業
16	小学校備品整備事業	24	中学校楽器整備事業

生涯学習課

No	事業名	No	事業名
25	少子化対策・子育て支援事業	42	図書館事業
26	（仮称）生涯学習交流施設建設事業	43	放課後児童健全育成事業
27	高齢者教育事業	44	放課後子ども教室推進事業
28	婦人学級開設事業	45	学校支援地域本部事業
29	新成人事業	46	青少年育成事業
30	日本語教室開催事業	47	文化会館管理事業
31	公民館を中心とした社会教育活性化支援事業	48	みちのく子供風土記館管理事業
32	子どもふるさと交流支援事業	49	浜辺の歌音楽祭開催事業
33	公民館講座開設事業	50	浜辺の歌音楽館運営事業
34	花いっぱい運動推進事業	51	文化祭開催事業
35	農林業振興センター管理事業	52	伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業
36	陶芸ハウス管理事業	53	胡桃館遺跡埋蔵資料等管理事業
37	あいターミナル管理事業	54	伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業
38	農村環境改善センター（合川公民館）管理事業	55	文化財保護事業
39	コミュニティセンター（森吉公民館）管理事業	56	縄文まつり開催事業
40	ふるさと文化センター（阿仁公民館）管理事業	57	北秋田市民俗芸能大会事業
41	交流センター管理事業	58	比立内発電所建屋改築事業（建屋解体撤去）

スポーツ振興課

No	事業名	No	事業名
59	中央公園野球場スコアボード判定表示板改修工事業	63	北秋田市スキー大会補助事業
60	北秋田市民プール指定管理事業	64	100キロチャレンジマラソン大会補助事業
61	薬師山スキー場指定管理事業	65	児童大会派遣費補助事業
62	北秋田市体育協会補助事業		

1 あきたリフレッシュ学園事業				主管課	総務課																																				
決算額	9,356 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)																																				
		3 (3) 期待以上	1 (2) 課題あり	2 (3) 高い	4 (4) 継続																																				
活動内容	市内外を問わず、人間関係やストレス等で心の問題に悩む小中学生に、自然体験や農作業体験等さまざまな体験活動や集団活動を通して、心と体のリフレッシュを図り、将来を考える機会と自立に向けた自信を与える場を提供するため、あきたリフレッシュ学園を開園した。																																								
点検・評価	<p>平成27年度は213日間開園し、17名の利用があった。内、中学3年生6名全員が高校へ進学し、中学2年生以下11名中、7名が学校へ復帰するなど大きな成果が見られた。</p> <p>今後も市内各学校、さわやか教室、スペース・イオとの連携を図りながら、学校へ行けない子どもたちの貴重な学びの場として事業実施していく。</p> <p>平成27年度で県の委託事業が終了し、平成28年度から市単独での運営となったことから、経費の最小化に向けた一層の取り組みが求められる。</p>																																								
	 <table border="1"> <caption>あきたリフレッシュ学園利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>延利用者数</th> <th>実利用者数</th> <th>実利用者の内市内の児童生徒数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>243</td> <td>8</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>547</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>982</td> <td>20</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>656</td> <td>14</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>870</td> <td>16</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>776</td> <td>16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>1,018</td> <td>19</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>1,098</td> <td>17</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>					年度	延利用者数	実利用者数	実利用者の内市内の児童生徒数	H20	243	8	0	H21	547	9	1	H22	982	20	1	H23	656	14	3	H24	870	16	6	H25	776	16	8	H26	1,018	19	7	H27	1,098	17	10
年度	延利用者数	実利用者数	実利用者の内市内の児童生徒数																																						
H20	243	8	0																																						
H21	547	9	1																																						
H22	982	20	1																																						
H23	656	14	3																																						
H24	870	16	6																																						
H25	776	16	8																																						
H26	1,018	19	7																																						
H27	1,098	17	10																																						
学識経験者の意見	第2次総合計画で「ぬくもり」をテーマの一つに掲げており、そういった観点から見ると、個に寄り添った本事業についての費用対効果については定量的観点というよりむしろ、教育波及効果の観点からとらえてはどうか。特に平成27年度は大きな成果が見えている。全国的に見てもこういった施設はなく、教育資産として価値付けしていったらどうか。また、目標値を設定することで評価がし易くなるのではないか。																																								

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大



2 小学校パソコン導入事業				主管課	総務課
決算額	(賃借料) 43,114 千円 (保守料) 7,019 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (3) 高い	4 (4) 継続
活動内容	パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境整備を図った。				
点検・評価	<p>平成26年度から平成29年度の4ヶ年で全小学校11校にタブレット型パソコンを導入する計画であり、平成27年度は3校に導入した。今後も機器を活用した幅広い授業展開が期待される。</p> <p>パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、授業や校務処理に支障のないスムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティの向上も図られたが、全部保守とすることで費用が高額となり課題も残った。</p> <p>定期的に教職員を対象とした研修会を実施することで、機器に対する知識と操作能力の向上を図っており、保守料の削減にもつながることから、更に取り組みを強化したい。</p>				
学識経験者の意見	<p>パソコンやネットワーク管理に精通した人材育成を進めることで、スポット契約でも障害対応できるようになることから、その方向で進めてはどうか。ただ、初期投資には必ず費用が伴うことから、単年度で費用対効果だけを見れば苦しいところもあるが、機器導入により授業改善が短期間に進むことと授業への学習意欲が高まることの費用対効果は大きい。</p>				

3 中学校パソコン導入事業				主管課	総務課
決算額	(賃借料) 18,600 千円 (保守料) 3,282 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (3) 高い	4 (4) 統合
活動内容	パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境整備を図った。				
点検・評価	<p>平成26年度から平成28年度の3ヶ年で全中学校5校にタブレット型パソコンを導入する計画であり、平成27年度は1校に導入した。今後も機器を活用した幅広い授業展開が期待される。</p> <p>パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、授業や校務処理に支障のないスムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティの向上も図られたが、全部保守とすることで費用が高額となり課題も残った。</p> <p>定期的に教職員を対象とした研修会を実施することで、機器に対する知識と操作能力の向上を図っており、保守料の削減にもつながることから、更に取り組みを強化したい。</p>				
学識経験者の意見	<p>パソコンやネットワーク管理に精通した人材育成を進めることで、スポット契約でも障害対応できるようになることから、その方向で進めてはどうか。ただ、初期投資には必ず費用が伴うことから、単年度で費用対効果だけを見れば苦しいところもあるが、機器導入により授業改善が短期間に進むことと授業への学習意欲が高まることの費用対効果は大きい。</p>				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大


4 学校耐震化事業				主管課	総務課
決算額	79,216 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 - 期待どおり	2 - 予定どおり	3 - 不可欠	1 - 廃(休)止・終了
活動内容	吊天井（特定天井）の耐震化を図り、安全・安心な教育環境の整備を図った。 ・鷹巣小ランチルーム天井 ・合川中体育館天井、柔剣道場天井				
点検・評価	吊天井を耐震天井に改修することにより、建築基準法を満たし、安全・安心な教育環境が確保された。（平成27年度で終了）				
学識経験者の意見	秋田県は全国的に見ても高い改修率であり、よく実施されている。				

5 小学校校舎等内外改修補修事業				主管課	総務課
決算額	35,153 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (3) 期待どおり	2 (3) 予定どおり	3 (3) 不可欠	5 (4) 拡大
活動内容	校舎、体育館等学校施設の機能を維持するため、経年劣化した建物や故障した設備の維持補修工事を行い学校生活の環境整備を図った。				
点検・評価	前田小体育館ステージバトン昇降装置改修工事、鷹巣小雨漏補修工事、綴子小雨漏補修工事、阿仁合小プールフェンス改修工事、鷹巣小小便器給水管改修工事、鷹巣東小屋外鉄骨塗装工事、阿仁合小教室棟屋根改修工事、鷹巣東小油用緊急遮断弁取替工事等29件の実施により、学校環境の整備が図られた。 校舎等の建物や設備の維持補修については、安全性や緊急性を考慮し優先順位を決めて進めているが、各学校施設とも老朽化が進み、年々改修箇所が増加傾向にある。				
学識経験者の意見	よく実施されている。				

6 中学校校舎等内外改修補修事業				主管課	総務課
決算額	6,582 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (3) 期待どおり	2 (3) 予定どおり	3 (3) 不可欠	5 (4) 拡大
活動内容	校舎、体育館等学校施設の機能を維持するため、経年劣化した建物や故障した設備の維持補修工事を行い学校生活の環境整備を図った。				
点検・評価	合川中雨漏補修工事、鷹巣南中ポーチ床改修工事、森吉中引込電線焼損復旧工事、鷹巣南中プールろ材交換工事、合川中体育館雨漏補修工事、合川中キュービクル改修工事、鷹巣南中柔剣道場ポーチ改修工事、森吉中教室棟雪止め設置工事、森吉中消火栓ボックス交換工事、阿仁中廊下基礎改修工事、森吉中教室棟防火ドア補修工事、合川中スライディングウォール補修工事等17件の実施により、学校環境の整備が図られた。 校舎等の建物や設備の維持補修については、安全性や緊急性を考慮し優先順位を決めて進めているが、各学校施設とも老朽化が進み年々改修箇所が増加傾向にある。				
学識経験者の意見	よく実施されている。				

【評価基準】

有効性・・・ 1＝期待以下(80%以下)    2＝期待どおり(80%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果・・・ 1＝課題あり(80%以下)    2＝予定どおり(80%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性・・・ 1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

7 学校給食センター建設事業				主管課	総務課
決 算 額	23,782 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (3) 高い	1 (4) 廃(休)止・終了
活動内容	<p>もりよし学校給食センターの完成に伴い、用途廃止となった施設の解体工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森吉地区学校給食センター</li> <li>・森吉中学校給食調理場</li> <li>・阿仁地区学校給食センター</li> </ul>				
点検・評価	<p>3施設の解体により、周辺環境への配慮が施された。(平成27年度で終了)</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>北秋田市もりよし学校給食センター 平成27年4月竣工</p> <p>場 所 北秋田市米内沢字林ノ腰36番地 構 造 鉄骨造2階建 規 模 建築面積 1,208.51㎡ 延床面積 1,399.30㎡ 調理能力 1,000食規模(オール電化厨房)</p> </div> </div>				
学識経験者の意見	本施設ができたことによる効果は期待以上にあるのではないかと。				

8 学校給食センター運営事業				主管課	総務課
決 算 額	274,288 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活動内容	市内各小中学校の児童、生徒に対し、給食を通じた食育を行い、健康の増進を図ることを目的として実施した。				
点検・評価	<p>学校教育の一環として、北秋田市内小学校11校1,449名、中学校5校801名及び受託事業として比内養護学校たかのす分校69名への給食を実施。</p> <p>また、平成27年度よりもりよし学校給食センターの共用を開始し、それにあわせ単独調理場であった合川中学校に給食搬入口を整備した。</p> <p>近年アレルギーを発症する児童、生徒が増加しているが、家庭におけるアレルギー対応等の栄養指導、助言等についても需要が増加傾向にある。</p>				
学識経験者の意見	費用対効果の観点から合理化は進んだが、アレルギーという全国的な問題が増加傾向にあり、地産地消が求められるという新たな課題もあることから、複数の栄養士を配置するべきではないかと。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下(80%以下)	2 = 期待どおり(80%超)	3 = 期待以上(100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり(80%以下)	2 = 予定どおり(80%超)	3 = 予想以上(100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止(終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

9 学校救急体制整備事業				主管課	学校教育課
決算額	82 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活動内容	AED（自動体外式除細動器）を全ての学校（小学校11校、中学校5校）に各1台を配置しており、使用期限切れのパッド（対応年数：1年6月）14個を交換した。平成27年度の使用実績なし。				
点検・評価	AED（自動体外式除細動器）を全ての学校に配置しているが、本体およびバッテリー、パッドに使用期限があり、随時交換の必要がある。 （使用期限 本体：6年 バッテリー：4年 パッド：1年6月） 緊急事態に備えて、AED講習会の実施など事業を継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	講習修了証を発行し、何人の修了者を配置しているとすればKPIの設定にも生きてくる。そのためにも、受講料の半額補助等も検討してはどうか。				

10 学校生活サポート事業（特別支援）				主管課	学校教育課
決算額	35,833 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		3 (3) 期待以上	3 (3) 予想以上	3 (3) 不可欠	5 (5) 拡大
活動内容	学習面や生活面において、様々な課題を持つ児童生徒に個別な関わりや支援を行うため、各校に支援員を配置することにより、教育効果を上げた。また、教職員と合同研修会を実施し、課題解決や適切な支援活動に努めた。 小学校10校84名、中学校4校27名の支援員を配置した。				
点検・評価	支援員を配置することにより、対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができるほか、周囲の児童生徒が落ち着いて学習に取り組むことができることと、担任の負担が軽減され、学級経営や授業づくりが充実することで学校全体の教育効果を高めている。 しかしながら、支援員一人が複数学級を受け持っている現状から、支援員の充実を図っていく必要がある。				
学識経験者の意見	見えないところで学校を支える非常によい事業であり、今後も一層の充実を図りたい。				

11 学校保健事業				主管課	学校教育課
決算額	13,680 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	学校保健安全法に基づき、学校医を委嘱し、児童生徒及び教職員の健康診断・検診及び健康相談を実施し、健康状態を把握することにより学校教育の円滑な実施を図った。 内科医13名、歯科医5名、眼科医2名、耳鼻科医4名、学校薬剤師13名を委嘱。 ・各種健康診断の実施実績 児童生徒 1,967人 受診率 (99.9%) 教職員 114人 受診率 (100%) 人間ドック除く 就学時健診 195人 受診率 (100%)				
点検・評価	各学校において、健康診断後の事後指導も継続して行われており、学校保健安全法に基づく本事業を継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	学校医を探すのは困難かと思うが、必要な事業であり、円滑な実施を図られたい。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

12 外国青年招致事業				主管課	学校教育課
決算額	19,254 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	3 (3) 予想以上	3 (3) 不可欠	5 (5) 拡大
活動内容	外国語指導助手 (ALT) としてアメリカから5人を招致し、各中学校に配置して小学校へも派遣し、コミュニケーション能力の向上に努めた。 ・授業日数 中学校 (5校) 641日 (1校平均: 128日) 小学校 (11校) 345日 (1校平均: 31日)				
点検・評価	小学校においては、英語や外国の文化・習慣に慣れ親しみ、コミュニケーションへの興味・関心を高めることができ、中学校では、生徒の実践的コミュニケーション能力の向上を図ることができた。更には英語担当教員とALTとのチームティーチングを通じて教員の指導力が向上し、教育的効果が高まっている。今後、中学校英語教育の充実と小学校の外国語活動の教科化に向けて更なる推進が必要となる。				
学識経験者の意見	今後とも推進を図りたい。コーディネーターの配置も非常に評価できる。				

13 学校安全整備事業				主管課	学校教育課
決算額	190 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活動内容	子どもたちが安心して登下校できるよう、安全対策として新入児童生徒に防犯ブザーを中学校新入生徒193人に配布した。				
点検・評価	市内小学校の新入児童182人には他団体から寄贈があったため、中学校新入生徒に防犯ブザーを配布した。 子どもたちの登下校時における不審者対策としての効果が期待されることから、本事業を継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	今後とも継続を図りたい。				

14 遠距離通学費補助事業				主管課	学校教育課
決算額	2,332 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	小学校4km以上、中学校6km以上の遠距離通学者のうち、公共交通機関 (路線バス) を利用することが可能な児童生徒に定期券を助成した。 小学校児童24名、中学校生徒8名。内訳は次のとおり。 ・鷹巣南小 (四渡・坊山) 3名 ・鷹巣南中 (四渡・坊山) 4名 ・鷹巣西小 (今泉) 10名 ・鷹巣中 (今泉) 4名 ・前田小 (塚田・巻淵・根森田) 11名				
点検・評価	遠距離通学となっている児童・生徒が義務教育を受けるうえでの費用負担の不均衡が緩和された。 児童・生徒の通学時の安全確保と保護者の負担軽減が図られていることから、今後とも事業を継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	通学時の安全確保と保護者の負担軽減につながることから、事業の継続を図りたい。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

15 スクールバス運行事業				主管課	学校教育課
決算額	70,166 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	<p>遠距離通学者の登下校の交通手段として、スクールバス及びスクールタクシーを運行した。また、合川小学校の統合により新たな路線を運行し、更には平成28年度の鷹巣西小学校が鷹巣小学校に統合する事に備えて1台増設、老朽化のバスを1台更新した。</p> <p>スクールバスの内訳は次のとおり。  直営バス：11台 委託バス：2台 スクールタクシー：4台  小学校：10校（171名） 中学校：5校（151名）</p>				
点検・評価	<p>スクールバスの運行により、遠距離通学者の不均衡緩和と通学時の安全確保が図られていることから、今後とも事業を継続していく必要がある。</p> <p>また、直営バスの運転手確保や児童生徒数の減少による路線の見直しとバスの老朽化による計画的更新が必要となる。</p>				
学識経験者の意見	今後とも継続を図りたい。				

16 小学校備品整備事業				主管課	学校教育課
決算額	12,435 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (3) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (5) 継続
活動内容	学習活動の充実を目指して、全小学校を対象に教材備品、図書備品を整備した。				
点検・評価	<p>各教科等で使用する教材備品及び図書を購入することにより、児童の学習意欲と教科や学級活動の充実を図ることができた。</p> <p>今後も継続しながら活力ある学校づくりに結びつける必要がある。</p>				
学識経験者の意見	<p>教育環境の充実若い人の移住にもつながるので非常によい。タブレット型パソコンを使った最先端の授業はもっとPRしてもよい。教育環境の充実、学力の高さ、教育の質の良さといったブランドを活かす工夫を。</p>				

17 中学校備品整備事業				主管課	学校教育課
決算額	13,993 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (3) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (5) 継続
活動内容	学習活動の充実を目指して、全中学校を対象に教材備品、図書備品を整備した。				
点検・評価	<p>各教科等で使用する教材備品及び図書を購入することにより、生徒の学習意欲と教科や学級活動の充実を図ることができた。</p> <p>今後も継続しながら活力ある学校づくりに結びつける必要がある。</p>				
学識経験者の意見	<p>教育環境の充実若い人の移住にもつながるので非常によい。タブレット型パソコンを使った最先端の授業はもっとPRしてもよい。教育環境の充実、学力の高さ、教育の質の良さといったブランドを活かす工夫を。</p>				

【評価基準】

有効性・・・ 1＝期待以下(80%以下) 2＝期待どおり(80%超) 3＝期待以上(100%超)  
費用対効果・・・ 1＝課題あり(80%以下) 2＝予定どおり(80%超) 3＝予想以上(100%超)  
必要性・・・ 1＝低い 2＝高い 3＝不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止(終了) 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

18 総合学習補助事業				主管課	学校教育課
決算額	800 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活動内容	総合的学習時間において、農園作業、花いっぱい運動、地域との交流学習、校外学習等各学校で特徴を活かしながら取り組んだ。 対象：小中学校16校				
点検・評価	各校で行われる体験活動等に補助することで、特色ある教育活動を行うことができた。各学校への配当額は少ないが、児童生徒の移動に要する交通手段は市民バスを無料で利用していることから、決算額に現れない経費も考えると費用対効果は非常に高いと思われる。				
学識経験者の意見	他では廃止の方向に向かっているところもあるが、本事業は学習効果が非常に高いので、北秋田市の充実さをもっと目に見えるようにPRするべきではないか。				

19 児童生徒大会派遣費補助事業				主管課	学校教育課
決算額	10,030 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	全県大会以上の大会に出場する児童生徒・引率者に、交通費、宿泊費及び参加料を補助し、児童生徒の知育・体育・徳育の伸長と健全育成を図った。 補助金件数 125件				
点検・評価	体育活動、文化活動において上位大会出場という目標を持って、児童生徒、学校の教職員が取り組んでおり、目標達成のためには本事業は有効であることから本事業を継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	継続実施を図られたい。				

20 教育センター事業				主管課	学校教育課
決算額	4,486 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	北秋田市学校教育ビジョンに掲げる「主体的に学び、新しい時代を創造していく子ども」を目指す子どもの姿として、小中学校の教職員研修を計画・実施した。また、事業調査部、教職研修部、授業・教科部の専門部を設け、さらにそれぞれの部門ごとに部会を設置している。今年度は、新たに情報教育推進部会を設置し、タブレットパソコンを活用した授業を先進的に進める活動を展開した。 全国学力調査の実施と教科ごとに分析と考察を行った。				
点検・評価	児童生徒一人一人に「自ら学び自ら考える力」、「これからの社会を主体的、創造的にたくましく生きる力」を身に付けさせるための研修を推進し、各校のミドルリーダーとして活躍する教務主任・研究主任・生徒指導主事などが社会の変化や様々な教育課題に適切に対応することができるよう、充実した研修を計画・実施している。 また、授業研究会や学力向上対策の協議から「分かる・できる・魅力ある授業実践」に取り組み、言語活動の充実を意識した授業改善推進のために支援している。 市内全ての小中学校が学校教育ビジョンに沿った学校運営をするうえで本事業は必要不可欠であり継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	市で実施している学力テストの実施時期を4月から3月に繰り上げ、回復指導に活かすことで教職員の負担軽減につなげる検討を。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

21 不登校児童生徒対策事業				主管課	学校教育課
決 算 額	1,274 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活 動 内 容	市教育センター内に「北秋田さわやか教室」という不登校の児童・生徒をサポートする教室を設けている。 そこで教職経験者の指導員（非常勤職員）1人を配置し、生活支援や個別に学習支援を必要とする児童・生徒への指導を行った。				
点 検・評 価	平成27年度は、中学生3人が通級し、所属校と連絡を密にし、個別指導や再登校への支援を行った。 学校からの課題プリントや英語、数学等の学習を行い、徐々に学習への意欲がみられるようになった。その結果、3名中1名は学校へ登校できる日数が増え、2名は普通高校へ進学することができた。 不登校及び不登校傾向の児童・生徒と、その保護者などへの支援を行い、学校復帰に向けて効果を上げるために本事業は必要不可欠であり継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	相談業務も行うことを検討してはどうか。				

22 要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業及び特別支援教育就学奨励費補助事業				主管課	学校教育課
決 算 額	25,699 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活 動 内 容	経済的理由により就学困難な児童・生徒に対し、義務教育を受けるために必要な経費を援助した。生活保護法に規定する要保護とそれに準ずる者（準要保護）、特別支援学級在籍者に対して年度毎に申請、認定を行っている。 ・認定者【要保護】 小学生 7人 中学生 7人 【準要保護】 小学生164人 中学生111人 【特別支援】 小学生 10人 中学生 8人 【被災児童】 中学生 1人				
点 検・評 価	支給費目は要保護が修学旅行費と医療費、準要保護はプラス給食費、学用品費を各学期末に支払を行っているが、学用品費の中の新入学児童生徒学用品費の支払時期について検討を要する。 児童生徒数から占める割合は次のとおり。 要保護・準要保護：14.7%（前年比+1.8） 特別支援：0.91%（前年比-0.1） 被災児童：1人（±0） 児童生徒数は減少しているが申請数は年々増加しており、今後も事業を継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	支給時期の改定等、今後も要望に応じた改善を図られたい。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大



23 学校評議員制度推進事業				主管課	学校教育課
決算額	295 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		3 (2) 期待以上	3 (2) 予想以上	3 (2) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	学校・家庭・地域が連携協力しながら一体となって子どもの健やかな成長を担っていくため、地域に開かれた学校づくりをより一層推進する観点から、学校に学校評議員を置くことができることにした。(学校評議員は、校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べるができる。) 小中学校16校：59人				
点検・評価	各学校、学期ごとに年3回実施し、開かれた学校づくりの推進、学校、保護者、地域が一体となった学校経営に資することができた。学校と地域が連携し支え合う取組を推進する上で本事業を継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	非常に大きな効果が出ていると評価される。				

24 中学校楽器整備事業				主管課	学校教育課
決算額	2,515 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		3 (2) 期待以上	3 (2) 予想以上	3 (2) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	年次計画で、各中学校 (H26年度は鷹小を含む。) における楽器を新規購入し、その整備・充実を図った。				
点検・評価	主に吹奏楽部 (鷹巣小学校においては金管バンド) の楽器を整備し、部活動の充実を図ることができた。 26年度 鷹巣小学校 森吉中学校 27年度 鷹巣中学校 28年度 阿仁中学校 29年度 合川中学校 30年度 鷹巣南中学校 年次計画事業のため、30年度まで継続していく必要がある。				
学識経験者の意見	楽器を新しくすることで、児童生徒のやる気にもつながり、それがコンクールでの金賞といった成果にもつながっている。				

【評価基準】

有効性・・・ 1 = 期待以下 (80%以下)    2 = 期待どおり (80%超)    3 = 期待以上 (100%超)  
費用対効果・・・ 1 = 課題あり (80%以下)    2 = 予定どおり (80%超)    3 = 予想以上 (100%超)  
必要性・・・ 1 = 低い    2 = 高い    3 = 不可欠  
方向性・・・ 1 = 廃止・休止 (終了)    2 = 縮小    3 = 統合    4 = 継続    5 = 拡大

25 少子化対策・子育て支援事業				主管課	生涯学習課
決算額	1,590 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	<p>保育園・小学校・中学校が実施した「家庭教育講座」等の実施に対して経費の支援をした。</p> <p>講座内容は、親や祖父母、園児・児童・教職員を対象に、「親子のふれあい・命の授業・絵本・情操教育等」のほか各課題に沿った内容で開催した。</p> <p>また、北秋田市子ども会育成連合会に補助金を交付し、子ども会事業の体験活動などを通して、ふるさとを愛する心の醸成に努めた。</p>				
点検・評価	<p>保育園で6講座、小学校で4講座、中学校2講座で計12の「家庭教育講座」が実施された。少子化に伴い家庭教育の重要性を認識し、今後中学校での家庭教育講座開催が増えるよう努めていきたい。</p> <p>また、北秋田市子ども会育成連合会では、自然体験活動など子どもたちの交流や親子参加型の事業を推進しており、地域で子どもを育てる活動の支援を継続していきたい。</p>				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

26 (仮称) 生涯学習交流施設建設事業				主管課	生涯学習課
決算額	1,955,195 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	1 (4) 廃(休)止・終了
活動内容	<p>平成26年度～平成27年度の継続事業で施設を完成することができた。施設の名称は「北秋田市民ふれあいプラザ」愛称は「コムコム」に決定した。</p> <p>中心市街地の活性化を図る拠点施設として、市民ワークショップで市民の意見や提言を取り入れ、利活用の協議を進めた。また、平成28年度のオープンを目指して、市民や関係団体、市職員による企画運営会議を開催し、記念式典やイベントの内容を協議した。</p>				
点検・評価	<p>市民ワークショップを16回開催し、市民の意見や提言を施設的设计・施工に十分に反映することができた。また、企画運営会議を13回開催し、平成28年度のオープンに向けた協議を行うことができた。(平成27年度で終了)</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>北秋田市民ふれあいプラザ コムコム</p> <p>場所 北秋田市花園町10番5号</p> <p>構造 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建</p> <p>規模 延床面積 2999.58㎡</p> </div> </div>				
学識経験者の意見	案内標識がなく、駅や高速道路からのアクセスが分かりにくいので、検討を。「徒歩〇分」といった標識があると利便性が高まるのではないかと。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止(終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

27 高齢者教育事業				主管課	生涯学習課
決算額	709 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	市内4地区(鷹巣・合川・森吉・阿仁)で、高齢者の学びの機会を充実させ、いきがづくりや仲間づくりなど地域の活性化に努めた。 ・入学・開講式、全体講座、移動研修、卒業・閉講式 ・クラブ活動や学園祭(鷹巣地区のみ)などの活動が行われ学習意欲を高めた。				
点検・評価	各高齢者大学では、移動研修、クラブ活動などを通して、楽しみながら学びや交流の輪が広がった。 学んだ成果の発表や交流の場は、新たな生きがいにつながり、その成果をさらに地域のボランティア活動に生かしていただくよう推進に努めた。				
学識経験者の意見	健康でなければ参加できないし、結果として医療費の削減にもつながる。機会を作ることで参加につながることから、KPIを導入することで効果はより高まると思われる。新しい参加者、長命者を数値にしたらよいのではないか。				

28 婦人学級開設事業				主管課	生涯学習課
決算額	76 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活動内容	地域のよりよい環境づくりや各行事の参画、青少年の育成など、活動する婦人団体へ学習支援・援助に努めた。				
点検・評価	鷹巣地区の17婦人学級のうち、8学級で13学習会を開催した。内容は、料理教室のほか、軽スポーツ、手芸等の学習会を開催した。 高齢化による会員減などにより、学習会開催が少なくなってきたことが課題となっているが、地域及び会員の交流の場として継続支援していきたい。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

29 新成人事業				主管課	生涯学習課
決算額	774 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	成人式は市内在住者及び市内中学校を卒業した者を対象とし、記念式典、記念講演、記念写真撮影を行い、新成人をお祝いした。 事前に新成人の実行委員会を組織し、受付など成人者が自ら運営に参加している。				
点検・評価	新成人をお祝いし激励する式典を行い、新成人が郷土の良さを見直すきっかけづくりに努めた。 成人者が積極的に成人式の準備にかかわるよう呼びかけ、若者の交流の機会にもなるよう努めた。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止(終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

30 日本語教室開催事業				主管課	生涯学習課
決算額	447 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	外国から嫁いだお嫁さんなどを対象に、日本語及び日本文化の習得のためのサポートに努めた。				
点検・評価	定住に必要な不可欠な日本語の実践能力を向上させる目的で、参加者のレベルに合わせ3コースを設定し、講師と指導ボランティアが細かな指導を行っている。生涯学習事業や地域事業など積極的に参加をしている。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

31 公民館を中心とした社会教育活性化支援事業				主管課	生涯学習課
決算額	272 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (2) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	Gちゃんサミット、高校生書道パフォーマンスや高校生クッキングトレインなど、地域独自の取り組みをとおして、地域の絆や産学官の連携により地域活性化の取り組みをした。				
点検・評価	高齢者が自ら学ぶ姿勢と、学んだことを活かしていく「新たな生きがい」づくりへ発展してきた。また、高校生と連携することにより、地域活性化に繋がってきている。				
学識経験者の意見	全国的に公民館活動が停滞する中、少ない予算で新しい視点にチャレンジするという活動は素晴らしく、他にはない活動であり、続けていく価値がある。				

32 子どもふるさと交流支援事業				主管課	生涯学習課
決算額	540 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	3 (2) 予想以上	2 (2) 高い	5 (4) 拡大
活動内容	合川中学生23人が東京都国立市を訪問し、合川地区の伝統行事「まと火」を通して交流を図った。				
点検・評価	合川まと火の実演と国立市民、地元中学生との交流を通し、ボランティア活動や自分たちのふるさとの大切さを学ぶ機会となった。				
学識経験者の意見	子どもたちは北秋田市の観光大使の一翼を担っているという視点もある。国立市との災害協定締結にもつながったということであれば、効果は高い。				

【評価基準】

有効性・・・ 1 = 期待以下 (80%以下)    2 = 期待どおり (80%超)    3 = 期待以上 (100%超)  
費用対効果・・・ 1 = 課題あり (80%以下)    2 = 予定どおり (80%超)    3 = 予想以上 (100%超)  
必要性・・・ 1 = 低い    2 = 高い    3 = 不可欠  
方向性・・・ 1 = 廃止・休止 (終了)    2 = 縮小    3 = 統合    4 = 継続    5 = 拡大

33 公民館講座開設事業				主管課	生涯学習課
決算額	3,258 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活動内容	趣味・教養・課題解決のための講座など、市民の学びの機会として充実に努めた。また、学んだことを生かして地域活動に生かし、より良い地域づくりへの参加啓蒙に努めた。				
点検・評価	各公民館で講座が実施され、身につけた知識や技術を「生涯学習フェスタ」、「文化交流のつどい」等で発表するなど、順調に学びの成果がみられた。今後も、自主サークルの活動や学校支援地域本部事業への参加、ボランティア活動などにつながるよう支援に努める。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

34 花いっぱい運動推進事業				主管課	生涯学習課
決算額	369 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	花いっぱい運動推進協会が推進する、北秋田市花だんコンクールの開催、花の種子の各団体への配布、花だんづくりの講習会の開催など、市の環境美化運動の支援に努めた。				
点検・評価	「花だんコンクール」には自治会、婦人会や高齢者グループなど、5個人、14団体、計19件の応募があった。参加団体数は横ばいであるが、花を育てることや環境美化運動により心を豊かにする活動として、市内全域での取り組みを呼びかけていきたい。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

35 農林業振興センター（鷹巣地区公民館）管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	19,625 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活動内容	七座、綴子、沢口、七日市公民館の維持管理に努め、施設利用者の利便性向上を図った。				
点検・評価	各公民館施設の老朽化が顕著のため、施設整備を年次計画で実施していかなければならない。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

36 陶芸ハウス管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	201 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		1 (1) 期待以下	1 (1) 課題あり	2 (2) 高い	2 (4) 縮小
活動内容	陶芸ハウス利用の充実を図るため維持管理を実施した。				
点検・評価	陶芸教室など市民が気軽に参加できる講座の企画を検討していきたい。 鷹巣、森吉など陶芸窯の更新時期に来ており、市の陶芸施設計画の検討が必要となっている。				
学識経験者の意見	実態を調査し、今後の方向性について検討すべき。				

37 あいターミナル管理事業				主管課	生涯学習課											
決算額	1,359 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)											
		1 (1) 期待以下	1 (1) 課題あり	2 (2) 高い	2 (4) 縮小											
活動内容	あいターミナルを市民が安心して利用できるよう施設の維持管理を行った。															
点検・評価	施設の利用がないので商工観光担当など他の部署と連携し、建物全体の活用の検討が必要である。															
	<p>平成27年度上杉あいターミナル利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>2,384人</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>77人</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>65人</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) H23 は自治会の利用も含む</p>					年度	利用者合計	H23	2,384人	H24	77人	H25	120人	H26	90人	H27
年度	利用者合計															
H23	2,384人															
H24	77人															
H25	120人															
H26	90人															
H27	65人															
学識経験者の意見	今後の活用の検討を行うべき。															

38 農村環境改善センター（合川公民館）管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	6,447 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	合川公民館施設の整備充実と、定期講座の開催など学びの機会拡充を図った。				
点検・評価	誘導灯の交換や冷却水ポンプ取替え等の修繕を行い、利用者の安全確保と施設の利用環境が整備された。				
学識経験者の意見	継続実施を図られたい。				

【評価基準】

有効性・・・ 1＝期待以下(80%以下)    2＝期待どおり(80%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果・・・ 1＝課題あり(80%以下)    2＝予定どおり(80%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性・・・ 1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

39 コミュニティセンター（森吉公民館）管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	7,710 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	森吉公民館施設整備の充実と、定期講座の開催など学びの機会拡充を図った。				
点検・評価	施設利用者の安全確保と施設の環境整備の充実を図った。				
学識経験者の意見	費用対効果については、定量的に量れるものではなく、住民生活におけるクオリティの向上という観点からもとらえるべきである。				

40 ふるさと文化センター（阿仁公民館）管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	6,673 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	阿仁公民館施設整備の充実と、定期講座の開催など学びの機会拡充を図った。				
点検・評価	適切な維持管理により、利用者の安全確保と施設の環境が整備された。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

41 交流センター管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	14,743 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (4) 継続
活動内容	市民の交流や活動の拠点施設として活用され、管理委託・清掃委託及び各種保守点検委託による維持管理を実施した。				
点検・評価	施設利用については、市内外から利用されており、地域活動の拠点として活用されている。建物の老朽化が進んでおり、緊急性の高いものから修繕等を実施している。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

【評価基準】

有効性・・・ 1 = 期待以下 (80%以下)    2 = 期待どおり (80%超)    3 = 期待以上 (100%超)  
費用対効果・・・ 1 = 課題あり (80%以下)    2 = 予定どおり (80%超)    3 = 予想以上 (100%超)  
必要性・・・ 1 = 低い    2 = 高い    3 = 不可欠  
方向性・・・ 1 = 廃止・休止 (終了)    2 = 縮小    3 = 統合    4 = 継続    5 = 拡大

42 図書館事業				主管課	生涯学習課
決算額	15,024 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	市民の学習施設として、図書の実と施設の維持管理に努め、運営については、鷹巣図書館で試行的に開館時間の時間延長を実施し、利用者の利便性やサービスの向上に努めた。				
点検・評価	図書館・図書室等と県立図書館など相互協力を図り、住民の学習や必要な情報提供に努め、利用の促進を図った。鷹巣図書館では開館の時間延長を試行中であり、利用者の利便性の向上に努めた。 図書館ネットワーク化により連携と迅速で正確な管理運営ができ、図書資料について、図書館協議会や利用者から意見をもらい充実に努めた。 今後も県立図書館の指導を受けながら、PR活動や利用者サービスを十分考慮した図書館運営に努める。				
学識経験者の意見	電話でレファレンスを受け付ける機能を持たせるとともに、使い方の周知も図ってはどうか。県立図書館の蔵書のフル活用も図るべき。また、保育園児の図書館体験デーで作成した貸し出しカードもフルに活用することで、学力向上にもつながる。				

43 放課後児童健全育成事業				主管課	生涯学習課
決算額	69,449 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	学童保育事業、14児童クラブ実施（うち5クラブ社会福祉協議会に運営委託）。鷹巣小児童クラブ、鷹巣東小児童クラブ、鷹巣西小児童クラブ、綴子小児童クラブ、鷹巣中央小児童クラブ、鷹巣南小児童クラブ、合川小児童クラブA、合川小児童クラブB、合川小児童クラブC、米内沢小児童クラブA、米内沢小児童クラブB、前田小児童クラブ、阿仁合小児童クラブ、大阿仁小児童クラブの計14か所に開設。登録児童数は554人。				
点検・評価	就労家庭への支援事業である学童保育は、児童が安心して集え、異年齢児との交流や放課後子ども教室との連携により児童の健全育成の推進が図られた。				
学識経験者の意見	成果の見えにくい事業であるが、非常に重要な事業であることから成果の見える化を図るべき。				

44 放課後子ども教室推進事業				主管課	生涯学習課
決算額	4,411 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	放課後子ども教室推進事業 11教室実施。 いきいきタイム（鷹巣、栄、綴子、沢口、七日市、西部、合川、米内沢、前田、阿仁合、大阿仁）延べ参加人数 15,080人 子どもたちの体験事業を実施し「ふるさと教育」の推進を図った。				
点検・評価	児童クラブ、児童館との連携が深まり、子どもたちが参加しやすい環境ができ体験活動の充実が図られた。				
学識経験者の意見	成果の見えにくい事業であるが、非常に重要な事業であることから成果の見える化を図るべき。				

【評価基準】

有効性・・・ 1＝期待以下(80%以下)    2＝期待どおり(80%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果・・・ 1＝課題あり(80%以下)    2＝予定どおり(80%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性・・・ 1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大



45 学校支援地域本部事業				主管課	生涯学習課
決算額	2,399 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (2) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	市内全校を対象に地域で学校を支援する活動を実施した。 学校の要望にあわせ、地域の人材を活用し、環境の整備、学習支援、クラブ活動の支援、体験活動や地域探検など、様々な分野で支援と活動を行うことができた。				
点検・評価	学校と地域が協力・連携することで、学校行事等へ支援や参加協力ができた。 環境整備、登下校時の安全確保、育林活動、伝承芸能、ふるさと学習、読み聞かせ活動等、様々な学校の活動を支援した。 地域と学校との連携がより強化され、地域の持っている知恵や経験を子どもたちに活かすことで、地域の人たちの新たな生きがいがいづくりにつながり、学校と地域の双方の相乗効果が現れた。				
学識経験者の意見	成果の見えにくい事業であるが、なくすことのできない事業であることから成果の見える化を図るべき。				

46 青少年育成事業				主管課	生涯学習課
決算額	1,363 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	青少年育成北秋田市民会議、少年保護育成委員会の活動は、地域での非行防止活動を実施した。 青少年問題協議会では、現代的な課題として少年事件やネット被害の問題について研修し、各団体で問題意識を共有した。 防災キャンプについては、合川小学校と合川中学校で実施した。				
点検・評価	青少年の健全育成を推進するため、共通の課題解決に向けて情報を共有し、青少年問題や非行防止の取り組みを連携し効果を上げている。 防災キャンプは、学校と地域の連携を実体験しながら災害時の行動を確認した。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

47 文化会館管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	36,961 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	市民が芸術文化の活動に参加できるよう、施設の維持管理の実施した。 また、自主事業等の実施で、優れた芸術文化作品に触れる機会の提供を図った。				
点検・評価	適切な維持管理や保守点検等を行うことにより、市民の方々が安心して利用できる施設や設備を維持できた。 自主公演事業では、ミュージカル公演やシネマ鑑賞、民謡など、より親しめる内容で集客に努めた。 また、市の文化祭の開催や市内外の芸術活動の発表の場として活用され、芸術文化の振興が図られた。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

48 みちのく子供風土記館管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	377 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	直木賞作家の渡辺喜恵子氏の顕彰館であり、市民の交流活動の拠点として利用されている。施設の維持管理を実施し、利用の向上に努めた。				
点検・評価	適切な維持管理を行ったことで、市民に気軽に利用できる施設として、芸術文化の振興が図られた。				
学識経験者の意見	顕彰のためにも続けていくことに意義がある事業である。				

49 浜辺の歌音楽祭開催事業				主管課	生涯学習課
決算額	585 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	成田為三先生の功績の顕彰と作品を後世に引き継いでいくため、幼児から児童生徒、一般の合唱団を対象とした音楽祭を毎年開催している。 参加団体：23団体				
点検・評価	成田為三先生の作品に触れ、合唱発表の場を設けることで市民相互の音楽活動の資質向上が図られた。				
学識経験者の意見	続けていくことに意義がある事業である。				

50 浜辺の歌音楽館運営事業				主管課	生涯学習課
決算額	5,447 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	成田為三先生の業績や作品を音楽博物館として顕彰し、後世に引き継いでいる。				
点検・評価	第90回定期演奏会では、劇団わらび座によるミニコンサートを実施し、入館者からも好評であった。 成田為三先生の音楽に触れる機会と、関連した資料の充実に努める。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

【評価基準】

有効性・・・ 1 = 期待以下 (80%以下)    2 = 期待どおり (80%超)    3 = 期待以上 (100%超)  
費用対効果・・・ 1 = 課題あり (80%以下)    2 = 予定どおり (80%超)    3 = 予想以上 (100%超)  
必要性・・・ 1 = 低い    2 = 高い    3 = 不可欠  
方向性・・・ 1 = 廃止・休止 (終了)    2 = 縮小    3 = 統合    4 = 継続    5 = 拡大

51 文化祭開催事業				主管課	生涯学習課
決算額	2,000 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	北秋田市の芸術文化の祭典として、展示部門と演示部門を実施し、運営については文化祭実行委員会に運営費を補助した。				
点検・評価	演示部門・展示部門で出演・出展団体同士の相互の連携により、文化活動の活性化と振興が図られた。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

52 伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業				主管課	生涯学習課
決算額	207,986 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	平成23年度からの計画に基づき事業を行っている。遺跡の見学環境整備と伊勢堂岱縄文館の展示室の内装及び駐車場舗装工事などと遺跡への橋梁下部工事を実施し、世界遺産登録に向けた準備を進めた。 見学環境整備：①環状列石保存処理委託 ②がゞゞゞ施設付帯工事監理業務委託 ③映像ソフト制作業務委託 ④史跡伊勢堂岱遺跡がゞゞゞ施設付帯工事 ⑤伊勢堂岱遺跡園路等設置工事 ⑥伊勢堂岱遺跡第2次外構工事 ⑦伊勢堂岱遺跡がゞゞゞ施設水道敷設工事 ⑧伊勢堂岱縄文館施設備品 橋梁工事：⑨橋梁下部工事監理委託 ⑩伊勢堂岱遺跡橋梁下部工事				
点検・評価	伊勢堂岱縄文館展示室内部や駐車場の整備、遺跡及びその周辺の環境整備などを行うことにより、見学者の利便性が向上し、世界遺産登録に向けた取り組みが図られた。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

53 胡桃館遺跡埋蔵資料等管理事業				主管課	生涯学習課
決算額	128 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	国指定文化財である胡桃館遺跡出土遺材の保存・保護に努めた。				
点検・評価	出土遺材の保存管理を行うことで、遺材の劣化を防ぐことができた。				
学識経験者の意見	非常に価値がある遺跡であることから、今後の方向性について検討を。				

【評価基準】

有効性・・・ 1＝期待以下(80%以下) 2＝期待どおり(80%超) 3＝期待以上(100%超)  
費用対効果・・・ 1＝課題あり(80%以下) 2＝予定どおり(80%超) 3＝予想以上(100%超)  
必要性・・・ 1＝低い 2＝高い 3＝不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止(終了) 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

54 伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業				主管課	生涯学習課
決算額	1,474 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録を目指し、フォーラムの開催、PR活動など情報発信の推進に努めた。また遺跡周辺の景観を守るための景観計画や遺跡の保存を図るための保存計画の策定を行った。 ①世界遺産登録推進に関する経費負担金 110,000円				
点検・評価	世界遺産登録に向けた推進事業の経費を負担することにより、事業の円滑な執行を図り、遺跡の価値や情報の発信に努めた。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

55 文化財保護事業				主管課	生涯学習課
決算額	3,489 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	文化財保護審議会委員による貴重な文化財の保護に対する意見集約を行った。また文化財保護に係る維持管理のための修繕及び工事に努めた。				
点検・評価	文化財保護審議会の開催や文化財の金家、長岐邸、根子番楽伝承館等の維持管理を行うことで、文化財の保護と見学などの活用が図られた。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

56 縄文まつり開催事業				主管課	生涯学習課
決算額	300 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	2 (2) 高い	4 (5) 継続
活動内容	第15回縄文まつりを開催し、伊勢堂岱遺跡の情報発信と各種の体験事業を行い参加者の交流を図った。 体験事業：①勾玉づくり ②火おこし ③土器づくり ④縄文記念写真 ⑤的当て ⑥縄文料理				
点検・評価	縄文文化と伊勢堂岱遺跡を広く市内外の人に情報発信することで、伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けた機運を高めることができた。				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

57 北秋田市民俗芸能大会事業				主管課	生涯学習課
決算額	356 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (2) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	北秋田市に伝承されている民俗芸能等を広く市民に公開するとともに、民俗芸能伝承活動とあわせて技量の向上に努めた。 出演団体：①上杉獅子踊り保存会 ②阿仁からめ節保存会 ③北秋雅楽会 ④根子番楽保存会				
点検・評価	民俗芸能団体へ発表の場を提供することにより、民俗芸能伝承の振興を図り貴重な民俗芸能の保存・伝承活動の支援が図られた。				
学識経験者の意見	伝統芸能と町・村が継続しているのは密接な関係があるという新たな視点が東日本大震災後に証明されたことから、小中学生の活用等工夫しながら継続していくべき事業であり、必要不可欠な事業である。				

58 比立内発電所建屋改築事業（建屋解体撤去）				主管課	生涯学習課
決算額	3,052 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		1 - 期待以下	1 - 課題あり	1 - 低い	1 - 廃(休)止・終了
活動内容	平成26年度の積雪で倒壊した比立内発電所跡にある発電機等を残して建屋を撤去し、残した発電機等の周囲にフェンスを設置した。				
点検・評価	平成27年度、予定通りに工事が完了した。（平成27年度で終了）				
学識経験者の意見	産業遺産としての検討を行ってはどうか。				

59 中央公園野球場スコアボード判定表示板改修工事事業				主管課	スポーツ振興課
決算額	1,396 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 - 期待どおり	2 - 予定どおり	2 - 高い	1 - 廃(休)止・終了
活動内容	スコアボードのカウント表示を現行ルールに則した表示への改修工事の実施により、利用環境の向上を図った。				
点検・評価	スコアボードのカウント表示をSBOからBSOへの変更と操作盤の取替、改修工事を行った。（平成27年度で終了） 現行ルールに即したカウント表示になったことにより利用環境が改善された。				
学識経験者の意見	—				

【評価基準】

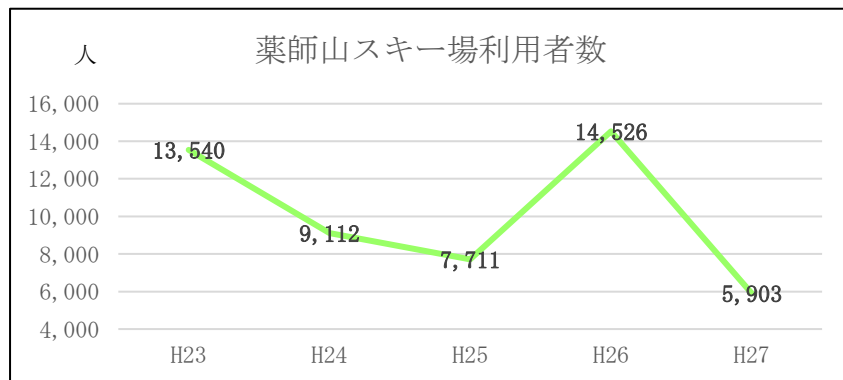
有効性・・・ 1＝期待以下(80%以下)    2＝期待どおり(80%超)    3＝期待以上(100%超)  
費用対効果・・・ 1＝課題あり(80%以下)    2＝予定どおり(80%超)    3＝予想以上(100%超)  
必要性・・・ 1＝低い    2＝高い    3＝不可欠  
方向性・・・ 1＝廃止・休止(終了)    2＝縮小    3＝統合    4＝継続    5＝拡大

60 北秋田市民プール指定管理事業				主管課	スポーツ振興課												
決算額	18,900 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)												
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続												
活動内容	指定管理制度による公の施設の管理運営事業。 平成27年度から平成31年度までの5年間の指定管理者を選定した。																
点検・評価	<p>施設利用人数は26年度45,704人に対して27年度52,205人、教室運営及び企画事業回数は1,728回で、教室参加人数は26年度12,048人に対して14,024人と大きく利用者が増えた。</p> <p>平成31年度まで再度指定管理契約を締結し、引き続きこれまでと同じ事業者が管理運営していくことになるが、施設利用者の増加や施設設備の更新など連携し運営に努めたい。</p>																
	<div style="text-align: center;"> <p>北秋田市民プール利用者数</p> <table border="1"> <caption>北秋田市民プール利用者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>利用者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>43,912</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>45,266</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>48,309</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>45,704</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>52,205</td> </tr> </tbody> </table> </div>					年度	利用者数 (人)	H23	43,912	H24	45,266	H25	48,309	H26	45,704	H27	52,205
年度	利用者数 (人)																
H23	43,912																
H24	45,266																
H25	48,309																
H26	45,704																
H27	52,205																
学識経験者の意見	継続実施を図られたい。																

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

61 薬師山スキー場指定管理事業				主管課	スポーツ振興課
決算額	3,830 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	指定管理制度による公の施設の管理運営事業。 平成27年度から平成31年度までの5年間を引き続き自治会を指定管理者とし管理運営を行っている。				
点検・評価	<p>平成27年度は暖冬の影響で稼働日数が61日間となったため利用人数も5,903人と大きく減少した。 バイアスロン大会の開催や、市内外の小学校にスキー教室での利用を呼びかけている。また、夏場にはクロスカントリーコースとして整備し、秋田北鷹高校スキー部や小中学校生のトレーニングの練習に使用されており利用者増加への努力が評価できる。 今後も、指定管理制度で地域自治会が運営することで、地域の活性化や地域コミュニティの醸成が期待できる。 しかし、圧雪車などの大型機械やナイター設備等の経年劣化による更新が課題となる。</p>				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				



62 北秋田市体育協会補助事業				主管課	スポーツ振興課
決算額	1,000 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	北秋田市体育協会の円滑な活動・運営のため補助金を交付し、スポーツの振興を図った。				
点検・評価	<p>北秋田市体育協会に加盟する23団体への強化普及・育成支援により地域スポーツの活性化が図られた。 また、北秋田市が参加する「チャレンジデー」への参加協力、北秋田市スポーツレクリエーション大会の開催や北秋田市スポーツ表彰式を主催し、北秋田市のスポーツ振興を図るうえで重要な役割を果たした。 さらには、大会運営及び国体出場選手への支援によりスポーツの振興に寄与している。 北秋田市のスポーツ振興を推進するうえで、北秋田市体育協会との連携は必要不可欠である。今後も事業の継続が必要であるが、阿仁地区体育協会が脱退したことから、今後の協会との連携及び地域スポーツの振興について検討が必要である。</p>				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大

63 北秋田市スキー大会補助事業				主管課	スポーツ振興課
決算額	1,653 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	北秋田市スキー大会実行委員会が実施するスキー大会開催のため補助金を交付し、事業の円滑な運営と雪国の特性を活かしたスポーツ活動の推進を図った。				
点検・評価	<p>・第68回大館・北秋田中学校スキー大会 (22人) ※雪不足のため中止</p> <p>・第61回北秋田学童スキー大会 (96人)</p> <p>・第9回北秋田市民スキー大会 (151人)</p> <p>・第51回大館・北秋田スキー米内沢大会 (43人) ※雪不足のため中止</p> <p>上記大会を開催し、スポーツの振興及び青少年の健全育成が図られた。人口減少に伴い参加人数は減少傾向にあるが、運動不足がちになる冬期間においてのスポーツ活動と雪国ならではのスポーツ推進に大きく寄与している。</p>				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

64 100キロチャレンジマラソン大会補助事業				主管課	スポーツ振興課
決算額	3,000 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	3 (2) 予想以上	3 (2) 不可欠	4 (4) 継続
活動内容	大会運営のため補助金を交付し、円滑な大会運営と参加者の交流及び地域の活性化を図った。				
点検・評価	<p>第25回大会は県内外から100キロの部に1,355人、50キロの部に347人合計1,702人のランナーが参加し、秋田県を始め、仙北市、北秋田市、上小阿仁村、自衛隊、消防、企業、ボランティア (約2,800人) の協力により実施され成功裡に終了した。地域のイベントとして定着しており、経済効果とともに参加ランナー及び地域住民の交流と地域の活性化が図られた。</p> <p>今後も事業を継続をするためには、県や仙北市、周辺自治体と連携し大会事務局の組織強化と大会継続に向けた知恵を出していくことが必要である。</p>				
学識経験者の意見	かなり知名度のある大会である。延べ人数にするとかなりの参加者となり、リピーターも多いので、これからも育て上げるべき大会である。費用対効果も高い。				

65 児童大会派遣費補助事業				主管課	スポーツ振興課
決算額	1,102 千円	有効性 (H26)	費用対効果 (H26)	必要性 (H26)	方向性 (H26)
		2 (2) 期待どおり	2 (2) 予定どおり	3 (3) 不可欠	5 (5) 拡大
活動内容	全県大会以上の大会派遣費を補助する事により、スポーツ少年団活動を助長し、子どもたちの心身の健全な育成及びスポーツ活動の底辺拡大と振興を図った。				
点検・評価	<p>全県大会出場が6競技26単位団、全国大会出場が1競技1単位団に対して参加費・交通費・宿泊費の一部を補助した。</p> <p>上位大会出場という目標を持って、スポーツ少年団活動に取り組んでおり、目標達成のためには本事業は有効である。</p> <p>補助事業者をスポーツ少年団に限定しているが、スポーツ団体のジュニアクラブなど活動が多様化してきており、補助事業の対象者の再検討が必要となる。</p>				
学識経験者の意見	継続実施を図りたい。				

【評価基準】

有効性	1 = 期待以下 (80%以下)	2 = 期待どおり (80%超)	3 = 期待以上 (100%超)		
費用対効果	1 = 課題あり (80%以下)	2 = 予定どおり (80%超)	3 = 予想以上 (100%超)		
必要性	1 = 低い	2 = 高い	3 = 不可欠		
方向性	1 = 廃止・休止 (終了)	2 = 縮小	3 = 統合	4 = 継続	5 = 拡大